

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス オリーブ		
○保護者評価実施期間	令和7年3月3日		令和7年3月22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26	(回答者数) 22
○従業者評価実施期間	令和7年3月3日		令和7年3月22日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月24日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童発達支援センターに同居しているため、放デイスタッフとと、児発修了後にオリーブ放デイを利用する児童とが互いに顔を知っている。また、支援内容についてもスタッフ間で情報共有がしやすい。	児発の利用児にも、事業の垣根を作る事無く積極的に関わっていくことで、子供にも顔を覚えてもらう。	時間が合えば、児発の利用児のカンファレンスなどにも積極的に参加していく。
2	機能訓練スタッフ(PT・ST)、看護師がオリーブの職員として在籍しているため、より継続的な支援ができる。また、重心児、医療的ケア児についても受け入れ可能であり、療育・生活訓練他、機能面、体調面など多方面から利用児に関わることが可能。	派遣スタッフではなく、機能面や体調面において長い期間同じスタッフが継続して関わることができるため、たとえ発達がゆっくりであっても些細な変化に気づきやすい。普段と違うなど変わった様子があればすぐに保護者に報告をし、またどんなに小さな一歩でも、成長がみられた時には支援者として保護者と一緒に喜びを感じていく。	その子に関わるチームとして、多職種間で意見を出し合うことで、さらに一丸となって支援していく。

3			
---	--	--	--

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	悪天候時など、今までは判断の根幹となるマニュアルがなかった。	放デイ周辺や営業範囲の道路事情などが判断にうまく反映されていなかったり、児童ならではの事情（保護者の就労等）が反映されていないことがあった。	マニュアルをもとに地域や児童施設ならではの事情に配慮していくことで、利用児や保護者に少しでも寄り添っていきたい。
2			
3			